

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	石定盤用クリーナ GSC-1000Y
製品コード	150642
供給者の会社名	新潟精機株式会社
住所	新潟県三条市塚野目 5 - 3 - 1 4
電話番号	0256-33-5502
ファックス番号	0256-33-5528
用途及び使用上の制限	石定盤表面の汚れ落とし

2. 危険有害性の要約

GHS分類 物理化学的危険性 分類対象外または区分外

健康に対する有害性 11. 「有害性情報」 成分情報を参照下さい

環境に対する有害性 水性環境有害性 短期(急性) 区分 3
*記載のないものは分類対象外または分類できない

ラベル要素

絵表示または
ピクトグラム



注意喚起語 危険

危険有害性情報 H316 軽度の皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H371 呼吸器への刺激の恐れ、眠気及びめまいのおそれ
P263 妊娠中/授乳期中は接触を避けること

注意書き「安全対策」 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと
P261 粉じん、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと
P264 取扱い後はよく手を洗うこと
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
P280 保護手袋を着用すること

応急処置	P305+P351+P338, P337+P313 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すことその後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること P301+P330 P312 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。気分の悪い時は医師に連絡すること P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断/手当を受けること
保管	P405 旋錠して保管すること
廃棄	P501 内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	w/t%
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物)	2.1%
可溶化剤	非公開
メタノール	5%未満
非イオン界面活性剤	非公開
増粘剤	非公開
pH調整剤	1%未満
防腐剤	1%未満
精製水	残分

4. 応急処置

皮膚に付着した場合	皮膚を流水、シャワー等で洗うこと。衣類を再使用する場合は洗濯すること 洗い残し等により皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること 眼の刺激が続く場合は 医師の診断手当てを受けること
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分の悪いときは医師に連絡すること
予想される急性症状及び遅発性	情報なし
症状並びに最も重要な兆候及び症状	情報なし
応急処置をする者の保護	被災者を救助する場合は、状況に応じて適切な保護具を着用する

5. 火災時の措置

消火剤	水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる
特有の消火方法	本製品は不燃性物質であるが、周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す 移動が出来ない場合は風上より容器周辺に散水して冷却する
消火を行う者の保護	消火の作業の際には適切な保護具を着用し、煙の吸入を避ける

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	必要に応じて保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣などの保護具を着用する
環境に対する注意事項	雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する
封じ込め及び浄化の方法及び機材	スクイジーなどを用いてできる限り空容器などに回収する 回収した後、または回収できないものは、多量の水にて十分に洗い流す

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術対策	「8. ばく露及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する
	安全取扱注意事項	全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと 眼に入れないこと吸入または飲み込まないこと
保管	接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照
	技術対策	保管場所の床は床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること 保管場所の床は危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ適当なためますを設けること
	混触危険物質	「10. 安定性及び反応性」を参照
	保管条件	密閉して保管する。子供の手の届かない所に保管する
	容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定

成分	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
	日本産衛学会	ACGIH *1
メタノール	200ppm 260mg/m ³ (皮膚呼吸)(2009年度)	TWA 200 STEL260ppm Skin(2009年度)
非イオン系界面活性剤 (含むジエタノールアミン)	未設定	1mg/m ³ (TWA)(2009年度) (ジエタノールアミンとして)

*1 ACGIH American Conference of Governmental Industrial Hygienists

設備対策	取扱う場所の近くに洗眼器及び身体洗浄のための設備を設置する、また、その位置を明瞭に表示すること	
保護具	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること(ゴム手袋等)
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること(保護メガネ等)
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、保護長靴、保護前掛け等をつけること
衛生対策	本製品を使用するときは飲食又は喫煙しないこと、取扱い後はよく手を洗うこと	

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体
色	透明若しくは淡黄色
臭い	微原料臭
pH	6.0~8.0(原液)
融点/凝固点	情報なし
沸点又は留点/沸騰範囲	情報なし
引火点	なし(非引火性)
燃焼又は爆発範囲上下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
比重(相対密度)	情報なし
溶解度	水に可溶
n-オクタノール/水分係数	情報なし
自然発火温度	なし(非引火性)
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いには安定である
化学的安定性	通常の取扱いには安定であり、危険な反応を起こすおそれはない
危険有害反応可能性	通常の取扱いには安定であり、危険な反応を起こすおそれはない
避けるべき条件	40℃以上の条件下での保管、直射日光、開放状態 混触危険物質
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	特になし

11. 有害性情報 製品に対する情報はなし
成分情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
直鎖アルキルスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10~14までのもの及びその混合物)	急性毒性	区分4	経口	
	皮膚腐食性/刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分2A		
	皮膚感作性	区分1		
	標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3		気道刺激性
可溶化剤	分類基準に該当しない			
メタノール	急性毒性	区分4		
	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分2		
	生殖毒性	区分1B		
	標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1 区分3		中枢神経系、視覚器、全身毒性 麻酔作用
非イオン系界面活性剤	標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1		中枢神経系、視覚器
	標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1 区分3		肝臓 麻酔作用
	標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分2		肝臓、腎臓、血液、中枢神経系
増粘剤	眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分2B		
防腐剤	0.1%未満につき分類基準に該当しない			

- *製品の急性毒性(経口)は、5,000<ATEmixより区分外とした
- *製品の皮膚腐食性・刺激性は、10%>皮膚区分II物質≥1.0%より区分3とした
- *製品の眼に対する重篤な損傷・刺激性は、眼区分2/2A物質<10%より区分外とした
- *製品の感作性、皮膚感作性物質≥1.0%より区分1とした
- *製品の生殖毒性は、生殖毒性区分1の物質≥0.3%より区分1とした
- *特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)は、含有量が1%未満の濃度限界値未満により区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性、肝臓)区分外、区分3(気道刺激性、麻酔作用)のみとした
- *特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)は、含有量が1%未満の濃度限界値未満により区分1(中枢神経系、視覚器)区分2(肝臓、腎臓、血液)共区分外とした。

12. 環境影響情報 製品に対しては情報はなし

原料情報	
水生環境有害 短期(急性)	急性II≤2.5%、(Mx1.0x急性III)≤2.5%となったので区分外とした
水生環境有害 短期(慢性)	データ不足のため分類できないデータなし
残留性/分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物を廃棄する場合、都道府県の知事の許可を受けた産業廃棄物
収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に
関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する
汚染容器・包装物を空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を
受けた産業廃棄物の収集運搬事業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)
及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する
リサイクル容器は内部に何も入れ空になった容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する

14. 輸送上の注意

・国際輸送
海上規制情報 非危険物
航空規制情報 非危険物
・国内輸送
特段の規制はない 陸上規制情報
海上規制情報 非危険物
航空規制情報 非危険物
特別の安全対策 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する
荷役作業は丁寧にいき、容器を破損しないように取扱う 水漏れを避ける
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う直射日光下で
の輸送は避ける

15. 適用法令

消防法 危険物に該当しない
労働安全衛生法 メタノール 名称を表示すべき危険物及び有害物(法57条1、施行令第18条)(政令番号36)
名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (政令番号：9-560)
毒物及び劇物取締法 該当しない
PRTR法 直鎖アルキルスルホン酸及び及びその塩(Alキ基の数が10-14)
第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
化審法 直鎖アルキルスルホン酸及び及びその塩(Alキ基の数が10-14)
優先評価化学物質 (通し番号140)

16. その他情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しております。本製品は工業用の
特定の用途向けに開発された商品です。弊社が紹介した目的・用途及び用法以外では使用しないでください。
使用前にSDS／ラベルを参照するなど、全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないでください。
全ての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには充分注意してください。
また、この情報は当社で調査できる範囲内の情報であり、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません

災害事例 情報なし